

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月31日

事業所名 コロニー児童デイサービスのぼりかわ

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------|-------------------------------------|--|----|---------------|-----|---|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である | 6 | 2 | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 5 | 3 | | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている | 1 | 4 | 1 | | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる | 3 | 5 | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている | 4 | 4 | | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している | 3 | 3 | 1 | 自己評価後、公開し 今後の課題を話し 合っている。 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている | | | 7 | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している | 3 | 5 | | 年に数回、研修を 受ける機会を設け ている。 | コロナ渦で回数は減ったが、落ち着いたら、 再度研修を受ける機会を増やしたい。 |
| 適切な支 援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | 2 | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している | 5 | 2 | | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行ってい る | 5 | 3 | | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる | 4 | 4 | | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している | 3 | 3 | 1 | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している | 5 | 3 | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している | 2 | 4 | 2 | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している | 2 | 4 | 2 | | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | 3 | | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる | 8 | | | モニタリングを実施し、 個別支援計画書の見直 しをする事ができてい る。 | |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている | 3 | 4 | | | | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|----------------------|---|---|----|---------------|-----|--|--|
| 関係機関 や保護者との 連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している | 7 | 1 | | サービス管理責任者が 担当者会議には出席し ており、対象の児童の 状況を説明している。 | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている | 5 | 3 | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている | 2 | 5 | | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている | 7 | 5 | | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している | 3 | 4 | | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている | 1 | 6 | | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある | | 6 | 2 | | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している | | 4 | 3 | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている | 6 | 2 | | | |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている | 1 | 6 | | | | |
| 保護者への説明 責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている | 5 | 1 | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる | 6 | 2 | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している | 2 | 4 | | コロナ渦という事もあり、保護者会等を行う のが難しい状況。 | コロナ渦が落ち着いたら、保護者同士が情 報交換できるような企画していきたいと思 います。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している | 7 | 1 | | ご意見があった際 は、すぐに職員間で 情報を共有し改善に 取り組んでいる。 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している | 6 | 2 | | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 8 | | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | 1 | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に関わった事業運営を図っている | | 6 | 2 | | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-----------------|----|--|----|---------------|-----|---|---------------------------------|
| 非常時 等の 対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 7 | 1 | | 各マニュアルを掲示用として作成しており、いつでも確認が出来る場所に設置している。 | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 7 | 1 | | 年に2度の避難訓練を行っている。隣接する児童デイとも日程を合わせ、合同で訓練を行う事ができている。 | 非常災害の内容を変えてみる等、訓練を工夫して実施していきたい。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 4 | 4 | | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 4 | 3 | | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 3 | 2 | | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | 2 | | | |